

先人の気風を今に受け継ぐここは「しぶたみ」

広報第3号

しぶたみ

発行 渋民振興会
令和6年6月24日

笑顔いっぱい移動研修！



令和6年6月15日（土）、渋民市民センター女性学級が渋民婦人会さんと共催で開催され、25名の参加がありました。震災から13年、大船渡市と陸前高田市の復興の様子を施設（さいとう製菓工場、陸前高田市立博物館）の方からお話を伺うことができました。

博物館では、震災当時の展示物に残る当時の傷な

ども踏まえ説明をしてもらいました。津波で展示物の多くが流されてしまいましたが、地元の人たちが届けてくれたり、保管してくれたことにより現在の資料があるそうです。

当時の詳しい話を伺うよい機会となりました。

ご参加頂いた皆様、ありがとうございました。



陸前高田市立博物館

民俗資料館からのお知らせ

事業名

「ともしび～暮らしのなかの明かりたち～」

《期 間》

令和6年7月20日（土）～令和6年9月16日（月・祝）

《内 容》

この企画展では、私たちの日々の暮らしを照らしてきた道具たち、さまざまな「ともしび」の移りかわりを紹介します。

皆さん、是非お越し下さい。

今年の夏は陶芸チャレンジ！！

令和6年6月23日（日）、渋民振興会教育・文化
部主催「陶芸教室」が開催されました。昨年開催し
た、地元なじよにか検討会で保護者の方から「夏休み
の研究・工作を考えるの大変」「みんなで一緒にでき
るといいよね」という話があり、夏休みの工作のアイ
デアの一つになればと企画しました。

大原の陶芸サークル「はらっぱの会」の熊谷さん、
佐々木さん、佐藤さんを講師に迎え、子どもたちはた
たら製法で皿や人形等、個性たっぷりの作品が完成し
ました！

今回は、みんなで絵付けに挑戦予定です！！



ろくろにも挑戦しました！



これでカレー食べるんだ

いざ！将棋！！



渋民地区老人クラブ連合会さん主催
の「囲碁 将棋 軽スポーツ」が開催
されました。将棋盤で向かい合いなが
ら「こりゃ負けたこりゃ負けた」と頭
を抱えるじいじ達が本当にかわいかっ

たです(笑)今年からはオセロもはじ
まったので、将棋がわからなくて
も、気軽に遊べそうです。是非、み
なさん来年は参加してみてください
(*ω*)



“ ありがとうございます ” マリーゴールド満開になーれ！



6月20日（木）、婦人会さんが花いっぱい
運動の一環で市民センターのグラウンドにかわ
いマリーゴールドを植えてくれました。今年
も元気におおきな一れ。

渋民の備忘録

A memoir of shibutami-1945

11区の永澤国雄さんから、昔のことをうたった
短歌を見せていただきました。その中で、戦争のこ
とについても歌われていて気になったので早速永澤
家へ！

永澤さん短歌「戦争に行く若者をおくる為
渋民橋で壮行式」

永澤さんにきいたところ、兵隊さんが出征してい
く日、家族で八幡様へいき、「武運長久」と縫った
旗を拝んでもらい、その足で渋民橋まで歩いてい
くと小学生が手作りの日の丸旗を振っているそう
です。村長さん、区長さん、校長先生が順番に激励
のあいさつをし、最後に出征していく本人が挨拶す
る。そのまま近隣の人や親類と、今の熊谷東さんの
家の坂くらいまでお見送りして、それから家族が
摺沢駅まで送っていったそうです。

永澤さん短歌「校庭にいもをまいて食材に
子等流せし汗しみた味」

国雄先生以外の方にも戦争当時のことを取材しよう
と思い、東山郷の小崎福男さんに戦争当時の話をき
きました。当時小学校の校庭では、じゃがいもも育て
ていたし、別の学年の人たちは蕎麦も育てていたそう

絵てがみサークルさざんか 大東町内市民センター巡回展 開催中です！

6月18日（火）から、渋民市民センター玄関
ホールにて絵てがみの展示会を開催しております。
大原の絵てがみサークルさざんかさんの皆
さんがかかれた素敵な作品がいっぱいです。
「パソコンでかかれた手紙より、こんな絵が描
かれていたら、うれしくなるよね」と皆さん楽
しそうに眺めていました。7/2まで展示して
おりますので是非お越しください。



です。トイレから肥料を運ぶ際は、当時福男さん
は、身長が高かったため同級生とふたりで運び方を
すると自分のぼうにかかると「やんたがった」と
話してくれました。

小崎さんが小学3年生のころは、同級生みんなと
小学校とお寺の間くらいにあった井戸の所の杉林に
避難したそうです、その時空を見たらB29が北へ飛
んでいき、数時間後Uターンしてからまた飛んで
行ったのをみたそうです。



▲「福男さん、最近うれしかったことはな〜に？」ときいたら「父の日
にお寿司買ってもらった」と素晴らしい笑顔を頂きました。

あとがき

小崎さんかお聞きした話も永澤さんの短歌も載
せきれませんでした！悔しいです。

渋民の備忘録は、小野寺の興味関心と皆様の優
しさで成り立っております。ご協力頂きました皆
様、本当に有難うございました。